

2 日 破 青 材
タ ラ イ 岬 美 し い 海 風 を 行 く
み さ き
遊 ゆ う
歩 ほ
道 ピ う

白砂青松・美しい海岸を行く

呻吟錄

南伊豆町が誇る弓ヶ浜海水浴場は
その名のとおり弓型に弧を描いた白
砂青松の浜で、夏には多くの海水浴
客でにぎわう。松林の中に休暇村南
伊豆があり、そこがコースの起終点。
海水浴シーズン以外は、日帰り温泉
で疲れた身体を温めることが出来
る。

浜のはずれから吹折坂という石と丸太の階段を上り、上り切ると案内標識のある分岐。右にはきつい急階段を上つていく健脚コースと、その左には急階段を迂回するらくらくコースがある。二つのコースは合流し、緩やかな灌木の中を上り、ウバメガシの林を抜けるとタライ岬に出る。

This map illustrates the walking routes and landmarks in the吉佐美大浜 area. Key features include:

- Starting Point:** 吉佐美 (吉佐美大浜)
- End Points:** 石廊崎へ (Kishizaki) and 下田へ (Shimoda)
- Landmarks:** 大浜海岸 (Ogihama Beach), 八幡神社 (Hachiman Shrine), 朝日橋 (Asahi Bridge), 浜条 (Hamamatsu), 浜条橋 (Hamamatsu Bridge), ポードウォーク (Boardwalk), トイレ (Toilet), 大賀茂川 (Ogami River), 舞磯浜 (Mizushima Beach), and 朝日小学校 (Asahi Elementary School).
- Notes:** The map also indicates the presence of Hamapowu (ハマボウ) clusters along the riverbank, which bloom yellow flowers in summer.
- Text on the left:** 十六羅漢さん方が祀られている (Sixteen Arhats are enshrined here).
- Text on the right:** イヌノキ (国の天然記念物) (Inu no ki (National Natural Monument)).



歩程 約**2時間40分**

ウバメガシの林を下つて舗装道に

道はこのあとアシタバが多く見られる広い舗装道となり、遠国島を間近に見ながら、やがて、素掘りの小さなトンネルを抜けると、もう田牛の集落に入る。夏には海水浴に広い砂浜があり、右手の港にはイセエビ漁の朱色の網が、ひとりわあざやかに干されている。

龍宮窟バス停から集落の細い道を少し行ったところに、国的重要文化財「木造阿弥陀如来座像」が安置されている長谷寺がある。

浜のはずれのこんもりとしたところが龍宮公園で、波の浸蝕でできた龍宮の穴と呼ばれる大きな洞（龍宮

(窟)をめぐる周遊道がついてゐる。その先、トンネルの手前を右に細い階段を降りると、海からの強風で吹き上げられた砂の急斜面がある。地元の子供たちは、この斜面で手製のソリを使ってサンダースキーを楽しんでゐる。また、この浜一帯は県の天然記念物になつてゐるハマユウの群生地もある。

ここからバスで下田へ出ればいいのだが、1日に数便しかないので、海岸を3回ほど歩いて吉佐美バス停へでるといい。途中、ハマボウの群生地や国の天然記念物イスノキのある八幡神社、十六羅漢を祭る宝徳院へ寄つて行こう。十六羅漢めぐりは約40分。

タフライ岬遊歩道案内板

長谷 こうた

素掘りのトンネル



ウバメガシの林を下つて舗装道に
出ると案内板がある。

道はこのあとアシタバが多く見ら
れる広い舗装道となり、遠国島を間
近に見ながら、やがて、素掘りの小
さなトンネルを抜けると、もう田牛
の集落に入る。夏には海水浴にい
広い砂浜があり、右手の港にはイセ
エビ漁の朱色の網があり、ときわあざ
やかに干されている。

龍宮窟バス停から集落の細い道を
少し行ったところに、国の重要文化
財「木造阿弥陀如来座像」が安置さ
れている長谷寺がある。

浜のはずれのこんもりとしたとこ
ろが龍宮公園で、波の浸蝕でできた
龍宮の穴と呼ばれる大きな洞（龍宮

(窟) をめぐる周遊道がついていく。その先、トンネルの手前を右に細い階段を降りると、海からの強風でさき上げられた砂の急斜面がある。元の子供たちは、この斜面で手製ソリを使ってサンドスキーを楽しんでいる。また、この浜一帯は県の然記念物になっているハマユウの生地でもある。

ここからバスで下田へ出ればいいのだが、1日に数便しかないの。海岸を3キロほど歩いて吉佐美バスへであるといい。途中、ハマボウの生地や国の天然記念物イスノキのある八幡神社、十六羅漢を祭る宝徳院へ寄つて行こう。十六羅漢めぐり

地吹群 傳天群

■コースタイム(参考)■

| 駅 | 休憩駅 | 時間 |
|-----|--------|-----|
| 下田駅 | 吉佐美 | 60分 |
| 吉佐美 | 牛岬 | 60分 |
| 牛岬 | 一岬 | 60分 |
| 一岬 | 浜 | 30分 |
| 浜 | 休暇村 | 10分 |
| 休暇村 | 伊豆急下田駅 | 10分 |

休憩村 南伊豆

タライ岬遊歩道案内図

高見山

休憩舎「ゆみとびあ」

トイレ

松林

若宮神社

旧立憲病院

修福寺

石廊崎

下田駅

伊豆急下田駅

休暇村

浜

一岬

牛岬

吉佐美

60分

60分

60分

25分

30分

10分

10分



穴があいてる。このあたりで「ウオノカニ」と呼ばれているカニの穴だ。
ゆるやかに灌木林を行くとボードウォークの道となり、上り切ると丁字路の分岐。左すぐ上に、前にタライ岬へ向かつた分岐が見える。
右へ平坦な道を行く。沢沿いからこの辺りまでツバキが植栽され

風の音を聞きながら東へ進むと、荒々しい磯の蓬ヶ浜へ出る。弓ヶ浜の砂浜とは対照的に、ゴロタ石と奇岩が浮かぶ。潮が満ちてくると群雀の鳴くような音を立てる雀岩、続いて姑岩、尖った形の中が穴になつたエビ穴が確認できる。これらは海食によって出来上がつたものである。海底火山のマグマが造つた放射状節理も確認できる。11月頃にはツワブキとイソギク、3～4月頃にはハマダイコン

足元に広がる青い海、岩に打ち寄せる白い波と雄大な大海原を一望できる。右後方に弓ヶ浜から南伊豆の海岸線、その先に蓑掛岩みのかけいわ、石廊崎。正面には灯台をのせた神子元島、遙か沖には伊豆七島も確認できる。さらに東を見ると、半月形にぱつかりと口を開けた大洞と、伊豆に配流された源頼朝が遊んだという伝説が残る遠国島を見ることが出来る。

再び灌木の中を下って磯に出てから小さな沢沿いに上る。磯づたいに